



いわきクリニック

YUKIUSAGI

岩谷医院会報 第15号 平成19年1月5日

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

岩谷医院ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

新年明けまして

おめでとうございます

新しい年を迎え今年も良い

一年になるようにと気持ちを

新たにされたことと思えます。

昨年の良いこと悪いこといろ

いろありましたね。でも除夜

の鐘の音がすべてを流してく

れましたよ。先のことは誰にもわかりません。

新たな、そして素敵な出会いがたくさん出来る

ことを願ってやみません。でも幸せは何もしな

い人には決してやってきません。前向きに取り

組む気持ちそして実行が大切です。今年も岩谷

医院のスタッフ一同は、皆様の「幸せの気持

ち」のお手伝いが少しでも出来るよう頑張りま

すのでどうぞよろしくお願いいたします。

『心には思いやりをそして唇には微笑みを』



院長より
一言

笑いのある診察室

『笑う門には福来る』とは笑いが絶えない楽しい家庭には自然に幸せがやってくるという意味ですが、これを人の心に置き換えて見ても、笑いは心を和ませ、何となく心が開き、そして心にゆとりができ幸せな気持ちになります。初めての来院だったり、体調が悪かったりの診察では緊張感も重なってとても笑いなど出る余裕もありませんが、診療を終えて部屋を出る時に表情が和らぎ、笑いができればしめたものです。診療の70%は終わったようなものです。あとは患者さんとの共同作業をするだけなのです。『日本笑い学会』という学会もあるそうです。笑うことにより血糖値の上昇が抑制され、免疫力を高め、脳が活性化されるなどいろいろな効用もわかってきているようです。

『笑い、一生（一笑）医者要らず』お後がよろしいようで。

連載Ⅰ(その4)

心臓手術から三十年、

多くの方々に感謝して

— 十三年後の再弁置換手術と岩谷医院通院まで —
伊達市梁川町 酒井 知子 さん

平成元年五月二十二日、再手術は十三年前には本当に想像できないほどの進歩で行なわれました。回復も早く翌日からは自分の意思を五十一文字が書かれた表で示すように言われ、朦朧とした意識の中であっさりこっぴど夢中で字をさした記憶が思い出されます。これは患者自身が生きているのだという実感を促し更に気力を出させるためとの事でした。ICUは二泊三日で心臓病棟の個室に移りました。人工弁も順調で、回診にみえた岩谷先生が「どうですか十三年ぶりの手術は？三度目はいいようにしましょうね。素晴らしい人工弁が入ったのですからいいでしょう」と保障してくれました。私は自分の体の中から聞こえてくる心臓の音を、「生かされたぞ、生きているぞ」と励まされているように感じ、「仲間良くしましょうね」とそっと胸を押さえました。退院に際し、家族は私の元気な姿を喜ぶと共に心臓医学の素晴らしい進歩に、そして岩谷先生をはじめ、担当してくださった萩原先生(現大原医療センター心臓血管外科部長)、佐戸川先生(現福島医大心臓血管外科助教授)および諸先生方、看護師さんに心から感謝いたしました。そしてこの人工弁の入った心臓との付き合いを大事にすることが私の生きる道と思えました。その再手術から十七年がたち、その間糖尿病の併発や不整脈ではカウンターショックも経験いたしました。医大の外來から厚生会クリニックの外來に移り月一回の岩谷先生の外來に通院しておりますが、平成十四年五月十四日の岩谷医院開院と同時に岩谷医院に通院することになりました。(つづく)

連載Ⅱ ふくしまの野鳥シリーズ(その2)

日本画の主

冬の鳥 ジョウビタキ

福島市太田町 飯田 輝 男 さん

冬鳥として、川にはハクチョウ・カモ類が来るが、陸ではジョウビタキ・ツグミが代表、すべて厳寒のシベリアを去って日本にやって来る。(九州にはナベヅル)。夏鳥のツバメはスイスイ飛び回るが、冬鳥はあまり移動しない。ジョウビタキはいつも一羽で公園や住宅街周辺の低い枝や垣根に、じっと止まって地上の虫を探している。横から見ると銀色の頭、オレンジ色の胸、黒い羽には白い大きな斑点があっけなく見つけやすい。人をあまりおそれないので、昔から日本画によく描かれて「絵になる鳥」です。びよこりと頭を下げ、尾をぶると振るクセがある。ジョウ(尉)とは能楽の言葉で白髪(老人・おきな)。この鳥が白髪だからで、ビタキはヒタキの仲間という意味(福島県の鳥はキビタキ)。

一方のツグミは鳩より小さいが中型の鳥で、赤や黒の木の実が好きで庭木にもよく来る。木の実を食べられることで、タネになってまき散らされる。冬が深まり木の実がなくなると、ツグミは地上におりて、びよんびよん跳ねながらミミズや虫を食べる。ツグミという名前は、この鳥が夏至(げし)を過ぎると鳴かなくなる(口をツグム)からと言われているが、小声で鳴く。

* 身近にいる鳥たちの名前の由来や興味深い習性など大変勉強になります。私も双眼鏡がほしいくなりました。(院長)



ジョウビタキ



ツグミ

短歌、俳句、川柳

坂大りんさん(福島市佐倉下)

短歌

待たれたる 親王誕生 寿きて
麻布の柱に 歓喜みなさる

俳句

初空に 光り輝く 高野槇

川柳

ゆきうさぎ 箱根駅伝 花の二区

小丸孝也さん(福島市蓬萊町)

川柳

うかつにも なすこともなく 老いの坂
品格は 「和英」のなかに 見あたらず
モノあまり 心のゆとり 消えていく
自主廃棄 涙がにじむ 大根葉
いつの世も たどり着くのは 曲がり角
今日もまた 少しだけよと 迷い酒

俳句

庄屋跡に 飛火の如し 曼珠沙華
休耕の 棚田になびく 枯尾花
八段位 祝う演武や 菊の花
大兄の 野辺の送りや なごり菊
道場の にぶき光や 雪もよい
あてやかに おさらい前の 初鏡

川柳

丹治泉水さん(福島市泉)

川柳

へこたれず腰を伸ばして踏む一歩
一年と言わず寒さが身に凍みる
おみくじを結んで願う初詣で
異状なし受診で胸が晴れとなる
分岐点立って明日の絵を描く

中国雲南の旅

福島市森台 高橋重夫さん

一年ほど前に高倉健主演の中国映画「単騎千里を走る」が福島でも上映され話題になりました。自閉症の中国人少年が、高倉演じる日本人旅人とのふれあいで、次第に頑な心を開くという美しいストーリーです。その背景になった素晴らしい雲南省の風物が、私をすっかり虜にしました。今秋十月心躍らせながら友人数名と旅立ちました。

雲南省はミャンマー、ラオス、ベトナムに接する中国の最西南地方で、二十五の少数民族が各自の文化や伝統を守って、仲良く平和に共存しています。台湾や香港と同じくほぼ北回帰線くらいの緯度ですが、高地のため気候は年中温和で「常春の地」とも呼ばれています。

まず福島空港から上海まで三時間、ここで国内線に乗り継ぎまた三時間飛んでようやく省都昆明に着きます。目指す麗江(リージャン)という町は、飛行機と車でさらに西へ六〇〇キロという遠い遠い所でした。

宋・明・清と数百年の時代を経た古城には、黒瓦屋根の民家約一千戸が、波のうねりのようにびっしりと軒を寄せ合い、固有の文化を受け継いで来ましたが、この集落全体が世界文化遺産です。狭く黒光りする石畳の道の両側は匂いも音も昔ながらの雑多な田舎店がならび、色とりどりの民族衣装姿の人々が行き交います。まるでタイムスリップしたかのような高倉健のロケ地でした。

麗江にはまた東巴(トンバ)文字といって、集落を守ってきた納西(ナシ)族が千数百年来用いている世界唯一



麗江の家並みと玉竜雪山

の象形文字教典があり、これも世界遺産に指定されています。魚や人や日月などのイラストのような面白い文字です。今ではさすがに自在に読み書きできる古老がわずかになってしまっただけですが、幸いその中の最高権威という方に会うことができました。

すぐそばに万年雪の玉竜雪山(五九九六m)が聳えていましたが、まるでフルーツラインから仰ぐ吾妻山ほどの高さにはか感じません。麗江自体が海拔二四〇〇mもあるからでしょう。心肺に問題ある私は岩谷先生の忠告に従い、携帯酸素ボンベを吸いながらリフトで中腹まで登りました。大氷塊を鈍でそぎ落としたような鋭い稜線がぐいぐいと迫って来て、思わず身震いします。

周辺の田畑は一枚一枚が小さいが、稲麦の二期作が普通で中には三期作もあるそうです。二、三日間の移動中見渡すどこにも家族そろっての野良仕事姿、しかも耕運機など一台も見かけません。思わずミレーの絵を連想するほどに、私たちがすっかり忘れていた懐かしい風景であり、眺めているだけで癒やされました。

幸せて何ですか：たとえGDPは低くとも、歌や踊りが大好きで、屈託なく質朴な暮らしぶりの少数民族の人たちから、生きるということの哲学を問われたような思いがしました。

旅から戻って間もなく高倉健が文化功労賞を受け、またNHKの人気番組「探検ロマン・世界遺産」が麗江を特集し、私に一筆揮ってくれた大東巴先生が厳かに登場した偶然には、嬉しくなりました。

これすべて健康あつての喜びです。
* 素晴らしい旅行記をありがたうございました。雲間から姿を現した玉竜雪山を副院長と一緒にテレビ番組で見ました。それはそれは厳かな姿で大変感動いたしました。[院長]



大東巴先生と「一期一会」の揮毫

患者さんのコーナー

我が家のペット⑥

玄関でおでむかえ。我が家の愛猫「シロ」です。何と11歳です。動きはトロクなくなったもののノラ猫のけんかには敏感で家中を縦横無尽に駆け回っています。伊達市梁川町 渡辺 健さん



第38回矢剣町ミニゴルフ競技会の優勝は岸 節子さんでした。おめでとうございます。来年は連覇を。[院長]

医院からのお知らせ



【診療について】

副院長は火曜、水曜の午前中のみ大原総合病院での診療になります。それ以外の日は、院長、副院長の2人体制になりますので、以前より待ち時間は少なくなっています。また診察の順番は患者さんの状態により変わることがあります。ご了承下さい。

【駐車場について】

医院横の7台の駐車スペースの他に小島薬局の駐車場も空いている場合には利用可能ですので受付にその旨お知らせ下さい。雨のときは駐車場および玄関前はすべりやすくなっていますのでお気をつけ下さい。玄関にはタオルを用意しておきますのでご自由にお使い下さい。

保険証：受診の際は忘れずにお持ち下さい。

老人医療に該当しない70歳以上の方には、高齢受給者証が個人ごとに交付されます。負担割合が表示されており、被保険者証と一緒に提示して下さい。



あ と が き

今年はどうな年になるのでしょうか？高齢化社会結構じゃないですか。大いにスポーツや旅、そして趣味の陶芸や俳句、川柳などを楽しんでください。そしてできればそのエキスを『ゆきうさぎ』にご投稿ください。皆さんの刺激になることうけあいです。お待ちしております。

小島薬局だより

あけまして おめでとうございます

健やかに新年をお迎える事、お慶び申し上げます。

日々、明るく楽しく元気よく過ごされる様、今年も小島薬局は、皆様の健康を守るかかりつけ薬局としてお役に立ちたいと願っております。

今年も宜しく願い申し上げます。

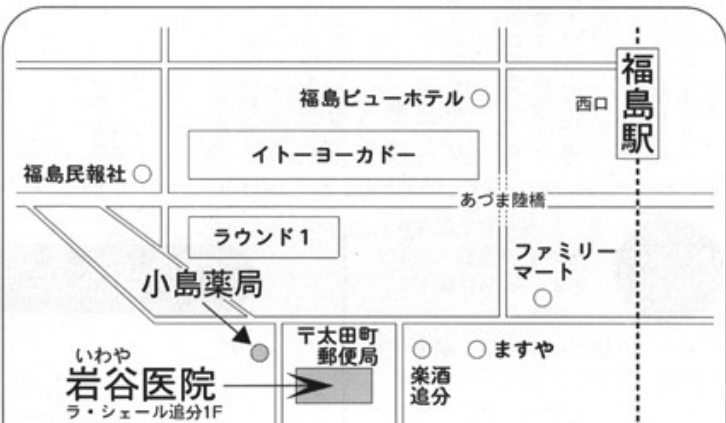
平成19年 元旦

有限会社 小島薬局
社員一同

医院便り

医療事務の坂大さんが退職され、昨年12月から佐藤智美さんが医療事務のスタッフに加わりました。明るく元気なアシリートです。

本人より一言：先生方はじめ、スタッフの皆様にもめぐまれ、毎日楽しく仕事をしています。天然ボケ的なところがあり、迷惑をかけることも多いかと思いますが、仕事にも早くなれるように、笑顔で頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。



【福島駅西口より 徒歩7分】 〒960-8068 福島市太田町17-27
ラ・シェール追分1F
でんわ 024-528-7770/FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日(木曜日を除く)は 午前9時~12時 午後2時~5時30分
土曜日は 午前9時~午後2時(昼休みなしで診療いたします)
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動静脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など